

国際ロータリー第2820地区

# 古河ロータリークラブ週報

# 17



2023-2024 森田 一雄年度 クラブテーマ

「奉仕を實踐し、地域に希望を生み出そう」



古河名誉市民 故 永井路子氏 ～ 鎌倉の自宅書齋にて(昭和60年頃)～

2023-2024年度  
国際ロータリー会長  
ゴードンR.マッキナリー



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度  
国際ロータリー第2820地区  
大久保 博之 ガバナー



地区スローガン  
まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る

- 設立：1966年(昭和41年)7月7日  
RI加盟承認 1966年8月30日(13850)  
スポンサークラブ土浦南ロータリークラブ  
初代会長 井上 延太郎、幹事 岩崎 清
- 事務所：〒306-0021 古河市松並1-9-25 宮内 則雄  
☎(0280)30-5004 fax(0280)30-5004  
e-mail:ns50miyauchi@dreams.ne.jp
- 例会場：〒306-0041 古河市鴻巣1189-4  
古河市商工会議所3階 ☎(0280)48-6000
- 例会日：毎週金曜日(第5金曜日は無し)
- 会 長：森田 一雄(第58代)
- 幹 事：宮内 則雄
- 会員数：正会員50名
- 発 行：会報・雑誌委員会 齊藤 百合子 委員長  
e-mail:yuriko19990430@gmail.com
- 公式HP：<https://koga-rotary.org/>

第2714回例会 2023年11月24日(金)

### 本日の例会プログラム

- 卓話「エントロピーについて」
- 卓話者：宮内 則雄 幹事

### 次回の例会プログラム 12月1日(金)

- 月初めのお祝い
- 年次総会

**第2713回**  
2023年11月17日

# 卓話「国際奉仕について」

## 司会・進行



坪野 潔  
バスト会長

## ソング



ソングリーダー  
田村 武敏 委員

## 委員会報告



親睦活動・家族委員会  
鈴木 敏雄 委員長

先週の理事会で承認されましたクリスマス会の出席確認表を各テーブルに配布させていただきましたので、ご記入の程宜しくお祈いします。

## 演奏題目

ロータリーソング  
『奉仕の理想』



## 奨学金授与

米山記念奨学生 リー・リンヤオ さん

こんにちは。先月の私の卓話の時には、皆様が真剣に聞いて下さりありがとうございました。その後、プログラム委員長の相良さん、そして、奥様とカウンセラーの斉藤さんが、私のためにお疲れ様パーティーを計画してくれました。とても嬉しかったです。たくさん食べてお酒も飲みました。これからもよろしくお祈いします。



## 表彰



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会から、米山功労クラブとして表彰されたことを、ご報告させていただきます。



## 出席委員会 野村 一成 委員長



会員数	50名
休会者	1名
出席者数	33名
欠席者数	12名
内欠席免除者数	4名
<b>出席率</b>	<b>73.33%</b>

## クラブ戦略委員会 間下 保 委員長



11月10日(金) PM 6:30~ 8:30  
和田家さんにて第一回のクラブ戦略委員会を開催しました。

大変有意義な意見交換が活発に行われました。参加いただいたメンバーの皆様ありがとうございました。欠席された皆様には赤いファイルに資料をとり込み本日配布させていただきました。

なお、次回以降の日程につきましては、なるべく早く報告書をまとめて次年度に引き継ぐため、配布資料に掲載してある予定を前倒しさせていただき下記のように変更したいと思います。よろしくお祈いいたします。

第二回戦略会議  
2023.12.15(金)  
PM 6:30~ 和田家



第三回戦略会議  
2024.1.19(金)  
PM 6:30~ 和田家





ニコニコBOX (敬称略)



会計・ニコニコBOX委員会  
伏木 利光 委員長

- 森田 一雄 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 岩崎 清 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 関口 哲勇 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 蓮見 公男 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 大和田五郎 先週は、ご心配頂きありがとうございました。引き続き出欠の連絡を大和田までお願いします。
- 野村 利夫 鈴木さん、卓話楽しみにしています。
- 間下 保 鈴木さん、卓話楽しみにしています。
- 塚田 晴夫 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 関 義明 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 坪野 潔 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 遠藤 誠 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 岩田 潤一 鈴木一彦委員長さん、卓話楽しみにしています。
- 岩崎 聖一 鈴木さん、卓話楽しみにしています。
- 若松 理 鈴木さん、卓話楽しみにしています。
- 秋葉 和敬 鈴木さん、卓話楽しみにしています。
- 小野寺信次 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 山浦 博 鈴木さん、卓話楽しみにしています。
- 田村 武敏 鈴木さん、卓話楽しみにしています。
- 宮内 則雄 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 熊木 善一 国際奉仕委員長 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 相良 登 鈴木一彦委員長様、卓話楽しみにしています。
- 前田美代子 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 五十嵐 順 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 鈴木 一彦 卓話をさせていただきます。
- 早川 宏 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 鈴木 敏雄 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 井上 勉 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 野村 一成 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 塩谷 和宏 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。
- 伏木 利光 鈴木一彦さん、卓話楽しみにしています。

	投入件数	合計金額
本日	30件	60,000円
累積	448件	1,385,000円

幹事報告

宮内 則雄 幹事



1. 根目沢 順子さん入会の件
2. 第4分区 IMの件  
11/13の会長・幹事会にて、IMの日程が決まりました。  
期 日：2024年2月3日(土)  
会 場：ヤクルトはなももプラザ  
スケジュール：13:00登録開始  
13:30～ 式典とRLI  
17:30～ 懇親会  
(ホテル 山水)

会長の時間

森田 一雄 会長



みなさん、こんにちは。先程、幹事からもお願いがありました、2月のIMで行われますRLIについてお話をさせていただきます。RLIとはロータークラブリーダーシップ研究会の事です。RLIの目的は、ロータリアンの自主性と卓越した指導性を養い、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを楽しく活性化し、元気で強いクラブを創ることで。研修方法は、ファシリテーション(促進する・容易にする・円滑にする・スムーズに運ばせる)手法を使ったディスカッション手法で行ないます。研修のポイントは「正解のある議論」にするのではなく、参加されたロータリアン同士、お互いの学び、経験に基づく考え方や奉仕活動を紹介しあい、触発しあいながら「お互いの考えを深めていく議論」を目指し、話し合う前よりも、あとの方が多少なりとも考えが深まった新たな気づきがあればあればよいというのが研修の基本です。私も4回ほど参加しましたが、最初はよく理解しないで参加しましたが、難しく考えないで、フランクな気持ちで参加すればするほど、面白い研修だと思います。多くのメンバーの参加をお待ちしております。

卓話「国際奉仕について」

国際奉仕姉妹クラブ担当委員会 鈴木 一彦 委員長



国際奉仕委員長の鈴木です。本日は、たくさんニコニコBOX投入ありがとうございました。相良プログラム委員長より卓話の依頼がありましてなにを話してよいか見当もつかなかったのですが、国際奉仕ということなので、まずは、地元古河で暮らす外国の方についてお話ししたいと思います。

現在古河市には約4,500人程の方が暮らしています。約30人に一人が外国人ということになります。①フィリピン971人 ②ベトナム808人 ③インドネシア487人 ④中国389人 ⑤パキスタン378人 ⑥ブラジル246人 ⑦スリランカ200人 ⑧タイ177人 ⑩ネパール146人 となっております。現在の日本の労働力では彼らなしでは成り立ちません。農業においてもよく総和地区や三和地区の田畑で収穫している姿をよく見かけます。また、福祉の分野においても介護施設などで活躍しております。物流の分野でも大きな倉庫の中で荷物の仕分け、飲食店インド、パキスタンの人たちはカレー店を営んでいたり、私の店の前にもスリランカの食材店があります。東南アジアや暖かい国の人はイメージ的に怠け者かなと思っておりましたが、スリランカ人の店は夫婦2人とたまに仲間が応援に来るぐらいですが、お店のほうは年中無休でゆうパックの車が毎日のように荷物を取りに来ています。本当に働き者です。休みがなくて疲れないのかいと声を掛けたこともありますが、他にやること無いから大丈夫と返ってきます。他にも車関係の仕事をしている方も多くみられます。日本の車をオークションで買って本国へ輸出して商いをしたりしています。

古河市にも古河ロータークラブが賛助会員になっている国際交流協会という団体があります。活動内容は文化の交流をコロナによって最近では自粛をしていましたが、12月には国際交流協会の大きなイベントのウィンターフェスティバルがとねミドリ館において開催されます。次に外国人のための日

本語教室を開講しています。外国の方からすると日本語はすごく難しいそうで積極的に交流があれば上達も早くなるのですが一般的な日本の方は日本語しか話せないから交流の場が少なく残念ということです。次に在住外国人のための生活相談、防災訓練、生活支援の在り方研修会などを行っています。

続きまして世界に目を向けたいと思います。今世界のトップニュースに連日なっているのがイスラエルとハマスの紛争でパレスチナ人居住区のガザ地区で病院の電源がストップして乳幼児が助かるはずの命が亡くなっています。ハマスの奇襲攻撃によってイスラエルでは死者が1,400人、240人以上が人質として今も拘束されています。一方イスラエルの報復攻撃、空爆や地上侵攻によりガザ地区の死者は1万人をこえています。本当に複雑な問題で第2次世界大戦によってユダヤ人がナチスによって大虐殺を受けたホロコーストによりヨーロッパにいた600万人の人々が迫害を受けて亡くなりました。迫害から逃れたユダヤ人達が戦後ユダヤ教の聖地であるエルサレムがある現在の地にイスラエルを建国しました。元々パレスチナの人達が住んでいた場所に国家を建設したのでパレスチナの人々は住む場所を追われ現在のガザ地区とヨルダン川西岸に分断されてしまいました。特にガザ地区は世界でも有数の人口密集地帯です。そこに空爆ですからまったもんじゃありません。

お互いの国の教育もイスラエルは、ホロコーストを繰り返してはいけません。自分たちを責める者には徹底的に叩くという教育を一貫して受けています。一方のパレスチナ、イスラム教も仲間がやられたら敵を叩いても良いとコーランで教えています。イスラム教を信仰するパレスチナ人、アラブ人、ペルシャ人などがこの戦いに加勢して戦局が拡大しかねません。今までにこの戦いでガザ地区の多くの人が国際機関の援助なしには、生きていけません。特に被害にあわれているのが女性や子どもたちです。ユニセフではガザ人道危機緊急募金をうけつけています。

ユニセフでは人道危機緊急募金で他にもスーダン、アフガニスタン、イエメンにも行っています。

すでに緊張状態が続いていたスーダンでは、2023年4月に首都ハルツームで激しい武力衝突が発生し、スーダン全域に拡大しました。この紛争の影響で、すでに弱い立場にあった子どもや女性はより厳しい状況に追い込まれています。何千もの家族がハルツームやその他の都市から逃れ、その多くが近隣諸国に避難しています。現在、スーダンの多くの地域で安全なアクセスや必要物資の供給が著しく制限されています。人々は食料や燃料、現金が不足しており、一部の地域では一般的な物資の価格が40%~60%上昇しています。また、紛争地域の学校や医療機関はほとんど閉鎖され、子どもたちは栄養不良、コレラなど水を媒介とする病気、暴力にさらされるリスクが高まっています。

次にアフガニスタンは長年にわたり、生きるうえで子どもにとって地球上で最も厳しい場所のひとつとされています。生まれた時から紛争に巻き込まれ、子どもたちは心身の健康、大切な家族や住み慣れた家、安全に生きる機会を奪われ続けています。ユニセフは、アフガニスタンで半世紀以上にわ

たって支援活動を続けている数少ない国際機関のひとつであり、国の指導者が変わるなかでも、途切れることなく最前線で子どもたちを守ってきました。しかしながら2021年8月の政変以降、これまで人々の命を支えてきた保険栄養センター、上下水道などの社会サービスは停止や縮小に追い込まれ、同時に経済危機による失業や食糧難が全土に拡大しています。その結果、かろうじて機能している救命施設は命の危機に瀕している子どもたちであふれかえり、人手や物資は慢性的に不足しています。アフガニスタンでは今年、国民の97%が貧困に陥り、5歳児のふたりにひとりが命にかかわる急性栄養不良になると予測されています。国際社会の支援がこれほど切迫して必要とされている状況はかつてありません。

2015年3月に中東の最貧国イエメンで激化した紛争は現在まで続いており、世界でも例を見ないほど大規模かつ深刻な人道危機となっています。子どもの5人に4人、1,100万人以上の子供たちが人道支援を必要としており、40万人の子供たちが重度の急性栄養不良に苦しんでいます。また、200万人以上の子供たちが学校に通っておらず、さらに400万人が中途退学の危機にあるとも言われています。紛争が激化して以来、国連が確認した子どもの死傷者は1万人を超えており、実際数は、これよりもはるかに多い予想されています。現在の資金規模では、戦闘が終結しない限り、ユニセフは、こうした子どもたちすべてに支援を届けることはできません。つまり、さらなる国際支援がなければ、この危機に何の責任もない多くの子どもたちが命を落とすことになるのです。

ユニセフでは他にもウクライナ緊急募金、アフリカ栄養危機緊急募金、シリア緊急募金、ロヒンギャ難民緊急募金などもおこなっています。日本も昭和24年から15年間ユニセフから脱脂粉乳の支援を受けていました。

ユニセフが募金を行っている地域は、ほとんどが紛争地域です。人間とはなんて愚かな生き物なんでしょうか。紀元前のギリシャ、ローマ帝国、エジプト、インド、中国と4大文明の頃から現在に至るまで絶えず争いを繰り返しています。日本においてもしかり明治維新の時まで国内で争いを繰り返して、第2次世界大戦で戦ってきました。今となっては愚かな戦いだともわりますが、現在でも、ウクライナとロシア、イスラエルとパレスチナ、シリアで争いが進行中です。中国が絡む危険因子としては台湾問題、インドとカシミールでのいがみ合い、南沙諸島では、ベトナム、フィリピンなどと小競り合いが続いています。日本とは尖閣諸島で争っています。日本は他に韓国との、竹島の領有権、ロシアとは、北方四島の帰属の問題があります。日本はアメリカが沖縄を返還してくれたことで北方4島も帰ってくるのではと思ってしまったのかもしれませんが。現状を変更するのは容易なことではありません。それを話し合い以外で変更することは武力衝突が発生する可能性があります。しかし話し合いとはイブンの話し合いは無く国力軍事力などが影響しています。人間は愚かです。歴史的建造物も一瞬で破壊しています。身近にいるあらゆる人種の人達がお互いに分かり合えることは争いを回避するのに微力ながら働くのではないのでしょうか。ゴルゴ13がない今、内政干渉もできません。独裁者、独裁国家が判断を誤らない事を祈るばかりです。



## ロータリー知識クイズ 第16回

ポリオプラスは、ロータリークラブが開始したポリオ根絶活動プロジェクトで、1979年にフィリピンで最初のポリオ予防接種プロジェクトを開始し、6年後にポリオプラスを開始した。

はい  いいえ

\*答えは、次回の週報に。

\*第15回の答えは、■はい です。